道路施設とは

道路の主な施設

道路の主な施設

橋梁

鋼橋、コンクリート橋
（PC 橋、RC 橋）など



トンネル



舗装

舗装（アスファルト、
コンクリート　など）



その他

盛土、切土、法面、道路標識、
道路情報板、照明灯　など

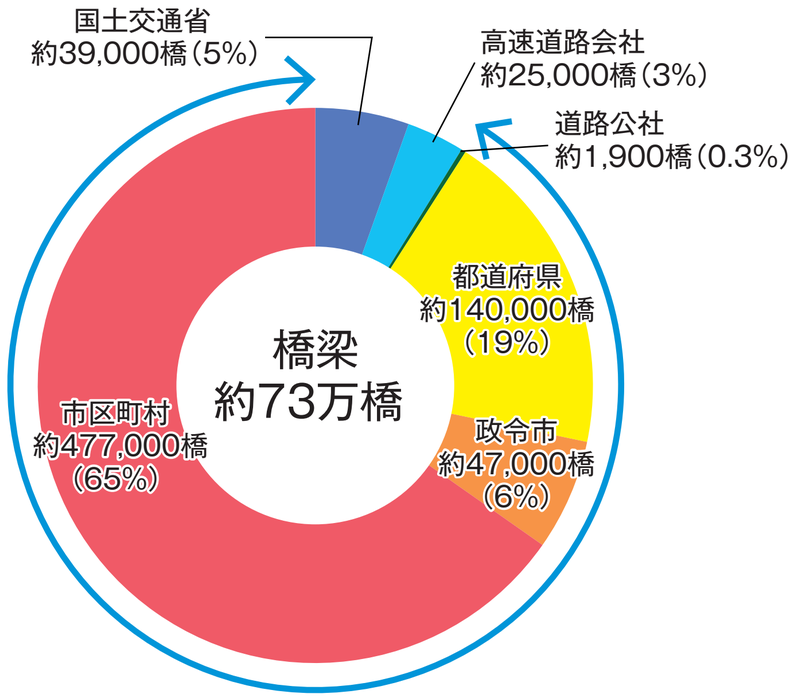


地方公共団体が全体の9割を管理

橋梁の現状



●全国には、橋長2m以上の橋梁が約73万橋
うち9割以上を、地方公共団体が管理

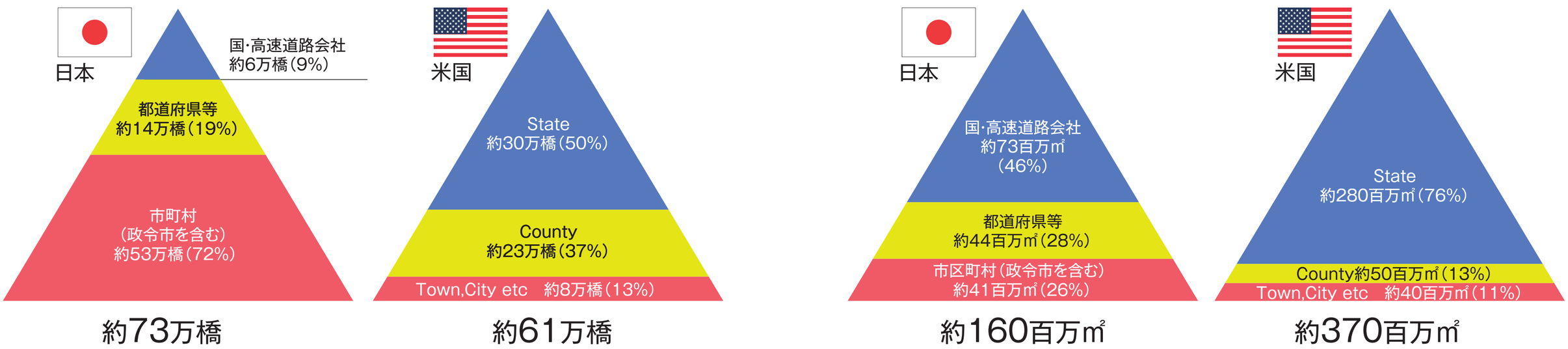


地方公共団体管理約67万橋（91%）

（出典）2026.8道路メンテナンス年報　国土交通省調べ（2026.3末時点）

●米国と比較すると非常に多い

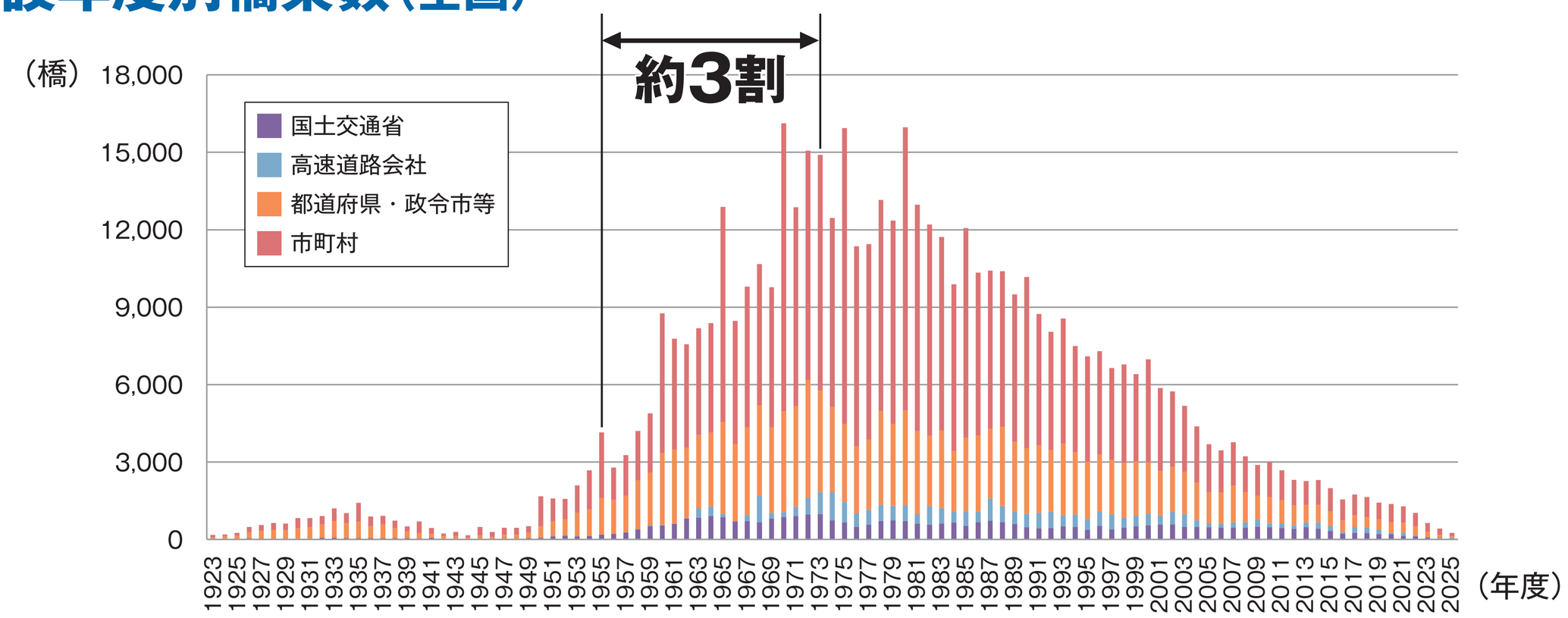
（参考）橋梁数、橋面積に関する米国との比較



（出典）日本:道路局調べ（H31.3時点）
米国:FHWA（Federal Highway Administration）ホームページ（2014.12時点）
※StateにはFederal(約1万橋)を含む　※切り捨てにより合計値が一致しない

●全国の橋梁の約3割が高度経済成長期に建設

建設年度別橋梁数（全国）



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約19.3万橋ある

（出典）2026.8道路メンテナンス年報　国土交通省調べ（2026.3末時点）

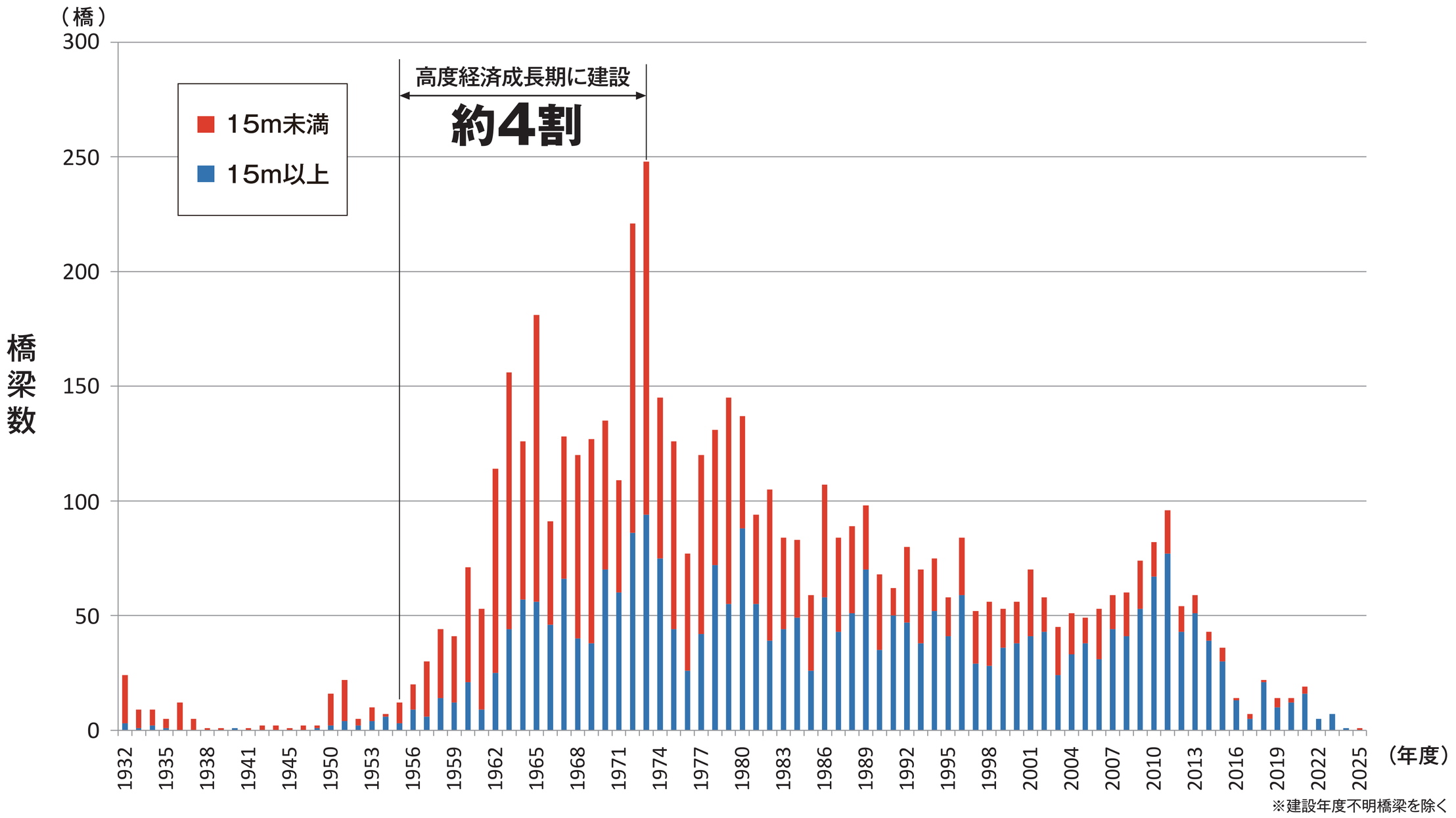
進む橋梁の高齢化

高齢化する橋梁



● 中部地方整備局が管理する橋梁約5,600橋のうち、全体の約4割が高度経済成長期に建設

建設年度別橋梁数（中部地方整備局）（橋長2m以上、2026年3月末時点）

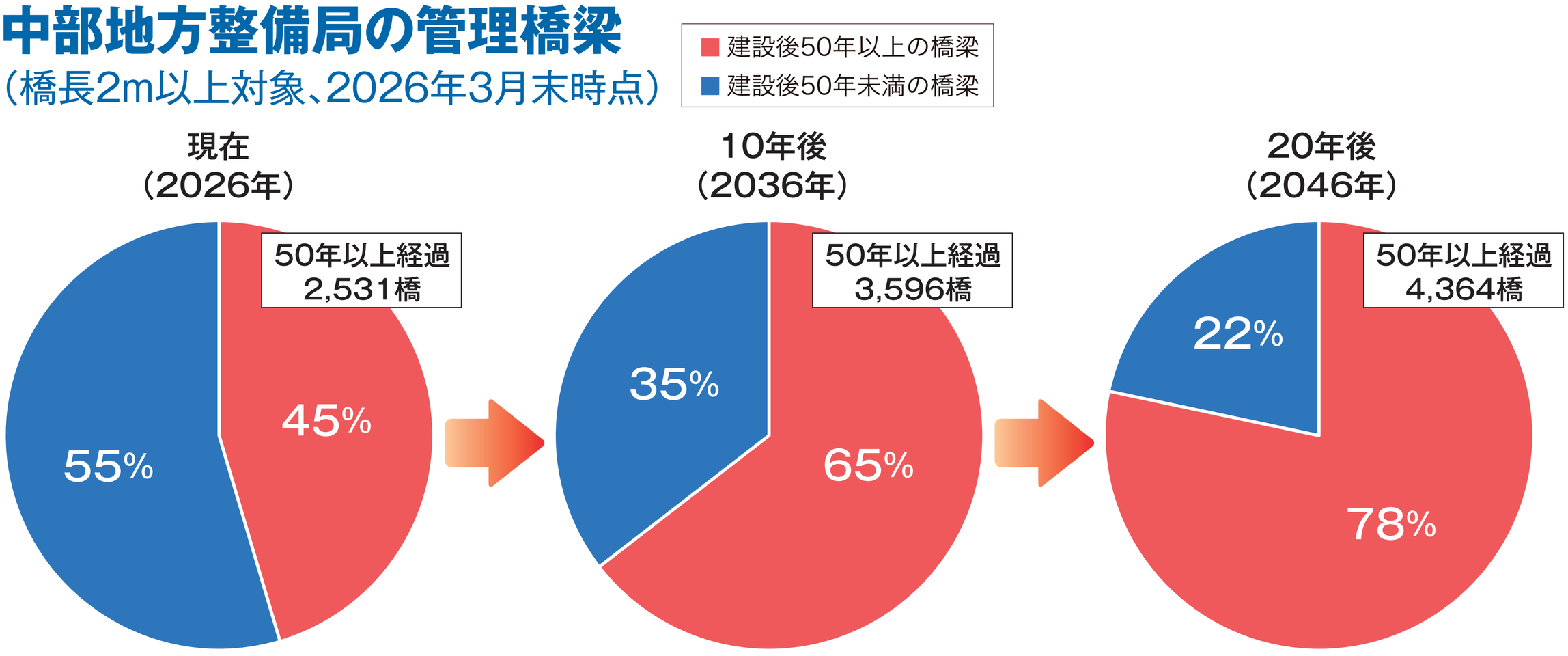


※建設年度不明橋梁を除く

● 建設後50年以上を経過した橋梁の割合は、現在45%、今後20年後は78%まで急増

中部地方整備局の管理橋梁

（橋長2m以上対象、2026年3月末時点）



※国土交通省調べ（2026.3末時点）　建設年度不明橋梁を除く